

## 2009 氷河地形

〔Ⅰ〕 次の文を読んで、( 1 )～( 10 )に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。なお、図c中に例示した3, 5, 6, 8の地形は、それぞれ本文の( 3 ), ( 5 ), ( 6 ), ( 8 )と対応している。

地球の最近の氷河時代は( 1 )であり、この氷河時代には幾つかの氷期と間氷期がある。氷期には極域またはそれに近いところでは( 2 )が発達し、山岳地域では山岳氷河が発達した。ここでは山岳氷河に関連した地形について考える。

山岳氷河の侵食地形のうち、( 3 )がおそらく最も顕著な侵食地形を呈する。これは、氷河が形成される前の河川の流路(図a)を受け継ぐことが多く(図b)、氷河が融け去った後の谷の断面(図c)を見ると、( 4 )字型を呈する。氷河の流れが緩やかなほど( 3 )の横断形は大きくなっており、これは河川の谷の横断形の傾向と類似する。なお、氷河が融け去った後を示した図cをみると、支谷の主谷への合流点に( 5 )が形成されている。言い換えると、滝が分布する。

氷河の上流部は山頂部に迫っている(図b)。この付近の氷河は特に( 6 )氷河と呼ばれるが、これが融けて出現した窪地を( 6 )と呼ぶ。日本もこういった地域に該当し、例えば( 7 )に見られる。図cでひときわ聳える峰は周囲を( 6 )氷河で侵食されて形成されたもので、( 8 )と称する。

改めて、図aと図cを比較すると、河川と氷河による侵食形態に大きな違いがあることがわかる。図aでは山地斜面はおよそ凸で、図cではおよそ凹になっている。ただ、図bの左下の山地部には氷河が被覆していないので、( 9 )作用が卓越し比較的凸の斜面が分布している。

ここで示した図の範囲から外れるが、氷河が海域まで続いていた場所では、氷河が融けると、( 10 )海岸が形成される。

〔語 群〕

- |          |          |             |           |         |
|----------|----------|-------------|-----------|---------|
| (ア) U    | (イ) 懸谷   | (ウ) 氷食谷     | (エ) 氷床    | (オ) 周氷河 |
| (カ) V    | (キ) 更新世  | (ク) 完新世     | (ケ) 谷氷河   | (コ) ホルン |
| (サ) ケスタ  | (シ) ドリーネ | (ス) カール(圈谷) | (セ) フィヨルド |         |
| (ソ) リアス式 | (タ) 飛驒山脈 | (チ) 紀伊山地    | (ツ) 九州山地  |         |

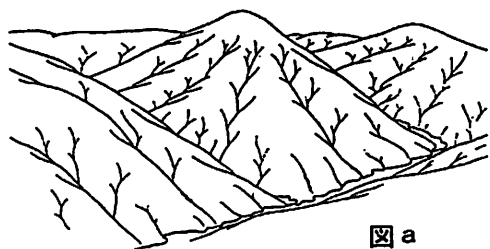


図 a

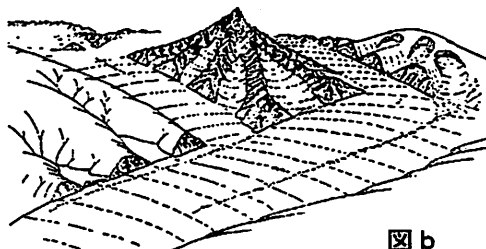


図 b

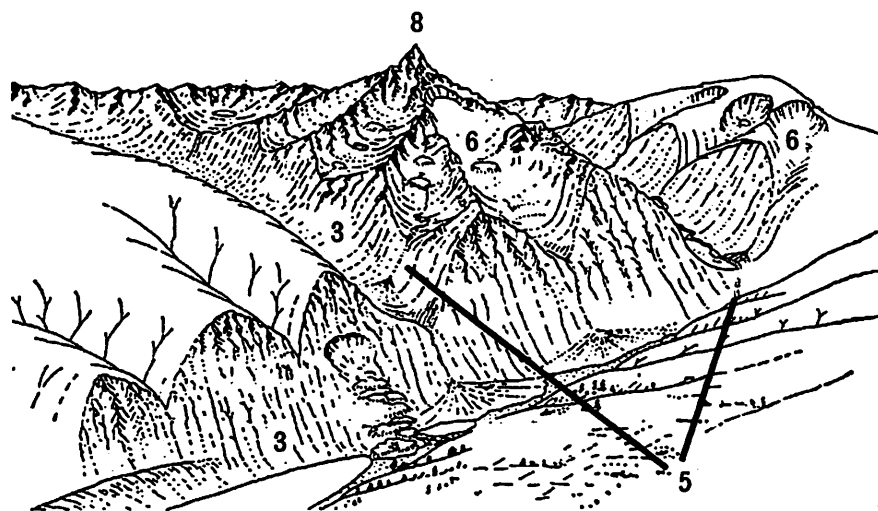


図 c

# 2009 自然災害

〔IV〕 次の自然災害に関連した〔語群A〕の(ア)～(オ)に対応するものを〔語群B〕と〔語群C〕からそれぞれ一つ選び、その記号をマークしなさい。ただし、地名などの後に発生年や国名を付加しているが、災害を名称で特定できる場合は一部省略している。

## 〔語群A〕

- (ア) 四川盆地(2008 年)      (イ) スマトラ島沖(2004 年)
- (ウ) ラカギガル割れ目噴火(アイスランド)      (エ) ヴェズヴィオ(79 年)
- (オ) ミャンマーのエヤワディ川デルタ(2008 年)

## 〔語群B〕

- (カ) 伊勢湾奥(1959 年)      (キ) 雲仙普賢岳(1991 年)
- (ク) 三陸リアス式海岸      (ケ) 兵庫県南部(1995 年)
- (コ) 天明・天保

## 〔語群C〕

- (サ) 火砕流      (シ) 内陸地震      (ス) 冷 夏
- (セ) 津 波      (ソ) 台風・サイクロンによる高潮

(以 上)